

2025年度 一般社団法人日本特殊教育学会 「実践研究」助成公募要領

1 目的

日本特殊教育学会は、地域における特別支援教育の発展と現職教員等正会員の専門性向上に寄与するため、地域における現職教員等の優れた実践研究に対して助成するものである。

2 助成対象および応募資格

本学会会員のうち、常勤の現職教員等の正会員が企画、実施する実践的研究を対象とする。地域の関係者(非会員も含む)との共同研究を歓迎する。過去に実践研究助成ならびに研究奨励助成の授与を受けたものを除く。また、研究奨励助成との重複申請は認めない。

研究代表者は、本学会の正会員として3年以上で、応募時に当該年度の学会年会費を納入している者とする。

3 助成金額 と採用予定件数

1件当たり、20万円までとする。

採用予定は、3件までとする。

4 助成期間

助成は、年度はじめの4月から年度終わりの3月までの1年間とする。

5 応募時期

所定の申請書(様式1)を作成の上、2024年11月30日(土)までに(当日消印有効)学会事務局に提出する。申請書等の入手方法および提出先は下記を参考のこと。

6 研究助成の決定

選考委員会で審査し、理事会の承認を経て、応募者に結果を通知する。

選考基準は次のとおりである。

- 1) 研究の目的と研究助成の目的との整合性、研究の独創性
- 2) 研究計画として、スケジュールの具体性や研究経費の妥当性
- 3) 期待される研究成果の具体性と地域における特別支援教育の発展性、社会的有用性
- 4) 申請研究にいたる地域における特別支援教育等に係る実践研究の実績

7 助成研究の成果等の報告

研究成果は、事業報告としてニューズレター等に執筆するとともに、次年度の大会において報告をする。また、「特殊教育学研究」[Journal of Special Education Research]へ論文投稿することが望ましい。

なお、当該研究の成果発表にあたっては、日本特殊教育学会の助成研究であることを明記

する。

上記の義務を果たしていない場合には助成金の返還を求められることがある。

8 研究助成金の使途と報告

- 1) 助成金の使途は、間接経費を含み、研究活動に必要な旅費、消耗品費、通信・運搬費、資料・印刷費などとする。ただし、研究機器・備品費は5万円以内、人件費は全額の20%以内とする。学会参加費・旅費は認めない。
- 2) 助成を受けた者は、収支の状況等を所定様式で2026年4月末日までに理事長宛に提出する。

記

<申請書等の入手方法>

申請書等は、日本特殊教育学会 <https://www.jase.jp/> からダウンロードする。

<申請書提出先>

一般社団法人日本特殊教育学会事務局

○メールの場合 info@jase.or.jp

○郵送の場合

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 2-20-7 レガートホソダ 203

TEL:029-851-7778 FAX:029-886-8180